

## 111 全日

1. 児童・生徒数の見通し：井出校長の任期もあと半年となるが、来年度に向けての見通しは如何？

全日制への入学、転入の問い合わせが徐々に増えているような気がします（感覚です）。12月に一人、来年度4月から一人、転入の問い合わせがあります。広報に力を入れることは、直接的な児童生徒数の増加につながる可能性があります。残り半年、この点に力を入れたいと考えています。（井手）

2. 実力テスト：最低人数が10人で4万円、現状中学部が9人なので、一人分4千円が追加で費用として掛かっているとの理解で間違えないか。

その通りです。（井手）

3. 英検：同じく最低実施人数が設定されていると思うが、この部分の収支、今後の改善方法に関して対策はあるのか？特に日本の中学、高校、大学への進学を目指している児童・生徒にとっては、英検2級以上の取得で英語課目の免除などのメリットもあるが、この点を幅広く知らしめ、受験者数を増やすことも可能と思うが、如何？

日本の中学、高校、大学への進学における英検の有効性については、英語教師を通して機会あるごとに伝えてもらっています。残念ながら現在、それを必要としている子どもが少ないという状況だと思います。（井手）

4. 学習参観（10/27）：理事、補習校の先生方も積極的に参加すべきと思うが、如何？

同感です。声をかけております。（井手）

5. ICT系の問題（AppleID）：これらはICT委員会にて取り扱われるものであると思うが、先月の報告から何の進捗もないが、解決策はあるのか？担当者は誰？

学校側は岡崎先生、岡村先生、元井先生、理事側は時任理事と渡辺で相談をしています。端末制御に必要な情報を取得できず、現時点では解決策を見いだせていません。引き続き対処します。（渡辺）

6. チャイム設備：@木村理事、設置、ロータリークラブのご来訪のスケジュールをお知らせください。

チャイムの設置は、早急に実施する。ロータリークラブの来訪は11月13日の予定（木村）

## 222 補習校

1. 漢字検定・日本語検定：受験者は何人？最低実施人数の設定はあるのか？日本人会への呼びかけ、そこからの参加者等はいるのか？

漢字12名 最低人数は5名？ 呼びかけをしている

日本語8名 最低人数は5名 呼びかけはしていない。今後、全日と相談。

2. 日本語会話受講生減少：分析深謝。在籍人数表の「他」が日本語会話受講生だが、昨年10月比で4月で10人減、今も8人減。他方、全日のチューター制度との連携も図れると思うが、一番の問題とその解決策、その実行案をお知らせ頂きたい。

- ・日本語会話授業の需要がない(必要性を感じていない)のではないか。
- ・個人的なツテに頼った人材集めのため適切な人材が探せなかった。
- ・専門的な指導ができる講師の雇用がない。
- ・保護者・受講生が授業に期待を持てなくなった。
- ・全日のチューター制度がどのように実施されているか不承知のため、連携が図れるかどうかは不明。

①人数が増えても即座に対応できる指導力のある人材の確保(現在でも年齢の幅が大きすぎて効果的な指導とは言えない状態)

②募集に関しては、SNS（需要のありそうな米軍基地内のフェイスブックや、グアムにいる母親が集まったフェイスブックでの広報）を活用する。

③①②を踏まえて、体験教室（無料）を実施する。

3. 日本語教員：一名採用した教員は日本語の指導が出来なかった：採用システムの見直し、教師の能力チェックが必要ではないか？

強く同意。これまで「補習校職員の知り合いのツテで探す」は、とにかく人材を埋めるだけで精一杯。このやり方では、同じ失敗を繰り返すことになり、余計に受講者が集まらなくなる。教員も情報提供は惜しまないが、理事会が責任をもって人材を発掘し、採用するという流れにすべき。

4. プリの問題点（対象年齢を広げたことによる、渡部先生の報告）：どのように対応するのか？再度年長のみに戻すのが良いのか？人数が減った理由は？

現在、教員間での検討では年長のみに戻すのがよい。年中も受け入れるのであれば、子どもの人数ではなく、2つに分けることを前提とする。ただし、単数では社会性が養えないので、開設しない。

人数が減ったかどうかは、対象児の母数が分からないので一概には言えない。増やすためには、「プリのよさを伝える」風評が出るよう教育の質を上げることが正道と考える。小学校へ上がるのにスムーズであった。国語の学習に馴染めた。日本語の感覚が他の児童より高い。などの声上がる指導ができる下地が必要。そのためにも、年長のみで指導を行うのがよい。年中と年長の1年の違いは大きい。常に同一指導は無理。ぜひ、実際に指導に当たっている教員の生の声を聞いてほしい。

5. 算数・数学クラス、習字、JLPTクラス等、その他の資産活用（学校校舎）の案はあるか？

算数・数学については、現在職員間で土曜日にも学習機会を設けることを8月より討議。アンケート結果も踏まえて検討。そもそも算数・数学に対して需要があるかどうか(必要と考えるかどうか)が大きな注目点。

習字は、昨年度の数やその効果。逆に今年度希望者なしだった理由を知りたい。同様に、JTPT を開設するに至った経緯。講師の選定や募集方法や経過や応募がなかった理由を知りたい。

「資産活用（学校校舎）の案」については、補習授業校というより、理事会日本人会で検討すべき。個人的には、校舎、体育館、日本人会事務所を利用して、その道の講師を雇い「茶道教室」「太鼓道場」「剣道教室」「幼児教室」「日本語教室」などを運営する方法も検討すれば、活用が進むと思う。

入学前の幼児の日本語チューター制度については、幼稚部や全日制教員と連携のうえ、入学させるための視点ではなく、子どもの実態を考慮して教育効果が上がるかどうかの視点、子どもにとって有効かどうかの視点から制度の採用、実施するかどうか検討するとよい。実際に幼児教育に携わっている者や就学指導経験者の意見を尊重したい。

### 333 幼稚部

1. スミス先生の話に合ったように、幼稚部が出来てからは、小学部（一年生）での揉め事が減ったとのことで、これは幼稚部設営の良い副産物。他方、それらの揉め事が幼稚部にて起こることになったとも聞く。直近は人数を増やせとのことで、門戸を広く開いたがために、新入生の日本語能力などの確認も後回しとなり、揉め事が増えているとも考察できるが、如何？また、対応策はどのように考えられるか？品質維持のためには、クラスを減らすことも考えるのか。

時任と園長とで、入園審査基準の制定とその内容を現在模索しています。この入園基準により教育レベルの維持が図れる一方、入園者激減→やがて廃園に繋がる可能性があると共に、幼稚部の人員をどうするかという判断にもつながりますので、引き続き慎重に検討し、12月までに方向性を内定し理事会と共有する予定です。尚、幼稚部単体の収支は、年間おおよそ3万ドルの赤字（2023年度予算）である事も、合わせてご報告いたします。（時任）

これまで、幼稚部での二年間は小学部に上がる前の大切な二年間という使命を感じながら職務にあたってきました。日本語力はもちろん、基本的な生活習慣を身に付け、他者とのコミュニケーションや思いやりの気持ちなどの社会性を育てられるよう、保育してまいりました。

しかし、教育部長もおっしゃられている通り、現在、来年度の入園審査基準の見直しを行なっています。

グアム日本人学校幼稚部を選んで通わせてくださっている、保護者様とお子様に適切な保育を提供できるよう、また、幼稚部職員一同、楽しく温かい気持ちで日々の保育にあたれますよう、入園審査基準の見直しは必須だと感じています。（プルモネス）

2. JOES インターン：1) 実施時期を24年6月としたときに、オプション①案を選択した場合、6月後半だと補習校が夏休みの可能性もある。全日幼稚部・補習校プリ両方への参加が望ましいが、タイミングの調整は可能か。2) インターンで給与なし、他方、

現地住居は「日本人学校が提供」とあるが、どのような対応を考えているのか。3) JOESは25年には3か月のインターンを検討しているようだが、その対象校もグアムなのか？

10月12日、JOESとの第2回MTGをもちました。理事会の方向性としては、ある程度のスキームが固まった段階で実施するとし、実施後にその評価を、JOES、大学、当校の3者で細部にわたるまで検証し、今後の展開につなげる、という事にしたいです。実施時期はFIXではなく、こちらの希望として9月を提案しました。また、第一回目の住居に関しては、時任宅を提供し、必要なコストなども事後検証項目とする予定です。(時任)

来年度のスクールパフォーマンスの日程にもよりますが、一か月前には練習を開始しますので、8月最終週から9月2週目までの受け入れでお願いしたいと思います。(プルモネス)

#### 444 補習校 PTA

1. アンケート：現状どのくらいの回答が来ているのか。少ない場合には、どのように拡散させるのか？英語版も作るのか？

現在の回答数は55名です。半月の実績としてはまずまずだと考えております。両PTAからだけでなく既に日本人会の各種SNSアカウントでも拡散いただいております。今後もPTAからの再度の発信と合わせて、日本人会からも秋祭りのお知らせなどの間に定期的に発信いただくことで、日本語、日本語教育に関心のある方に届くことを狙っています。

英語版については設問も選択肢も多くニュアンスまで合わせた英訳が作りにくいことから制作は考えていません。英語話者が多い全日制保護者への発信の際には、Google翻訳の機能を使って自動的に英訳できる機能の紹介もしています。若干ですが外国人保護者様からの回答もきております。10月末で一度締めて、取りまとめ作業を行う予定にしています。

2. DPHSS 対応：B判定となり、着々と対応が進んでいること素晴らしいです。倉庫の電気の光量は、電球を変えるか、LED化で対応可能と思うが如何？(しかし、実際は、倉庫の電灯の光量は、無用の長物じゃないかと個人的には思いますが)。倉庫の明るさの件は電気の専門家である木村理事に対応を考えていただいております、一度方針が決まればさほど時間をかけずに改善が可能な項目であるため、あまり心配しておりません。今後はプールさんに時期を見計らっていただいているVarianceの進め方が、これが合計10点ありますので、最終的にAに持っていくための課題と考えています。

#### 555 事務局

1. 消火器の補充：これはGFDの指示？背景、追加消火器数と費用を教えてください。GFDの立ち合い避難訓練際に、違反事項として指摘されました。4年生教室、会議室の古い消火器の交換で消火器2つ購入しました。費用は未確認です。尚、他の指摘事項(違反事項)として、全教室のドアに避難経路MAPの掲示する事というのもありました。また、補習授業校でも同じようにGFD立ち合いの避難訓練の必

要がありますので、補習校校長長が日にちを決定し、事務に連絡し事務局が手配します。（時任）

2. 会計：

1. 月次損益収入：授業料大幅増とあるが、これは每期払いが9月に集中したからでないのか？  
はい、そのとおりです（渡辺）
2. 入学金の予算対比が147%とあるが、この乖離の理由は？実際予算を4月時点で超えているが、予算が甘すぎたのか？  
予算においては全日7名、補習6名、幼稚部10名、計23名となっています。実際には4月に24名の入学金があります。どのようにして予算を作成しているかは不明です。予算策定根拠資料がないため、結果に対して分析と、評価ができません。2024年度予算策定においては根拠を明確にするようにします。（渡辺）
3. 外務省補助金の収入と教育関連費の支出によるねじれが起きていないのか。先月説明のとおり、4月の109Kの収益は昨年費用の期ずれでの計上に対して、支出部分（外務省補助金分）が計上されていないので、累計上109K益が多いように計上されていないか？  
109Kは現地採用教員人件費に対する謝金と安全対策費補助を前年同額を計上しています。一方で費用側では人件費は実際に支払っている人件費、セキュリティ費用を計上しています。そのため、収入が過剰になってはいません。しかし通期266Kの赤字予算に対して、6か月経過した時点で169Kと大幅黒字となっています。現在、大きな支出の計上漏れがないか、確認をしています。また今後についても、予算消化見込を精査する予定です（渡辺）
4. 6月に計上されている弁護士会計士費用10,667の内訳は？  
4月、5月の一部人件費について業務委託費への修正によるものです（渡辺）
5. スクールカウンセラー費用はどの項目に計上されているのか？  
まだ計上していない。10月に計上予定（渡辺）
6. FEMA関連で補助金が出る可能性はあるのか？  
FEMA担当者が2週間に一度学校に来校していただき、許理事、時任理事とMTGをもち、補助金申請を進めております。補助金が出る可能性は高いと思います。（時任）
7. 昨年のGDOEからの補助金（補習校にて50K）は今年は想定されるのか？  
GDOEと毎月MTGをもっていますが、何のインフォメーションもありませんので、今年は期待できません。（時任）

666 各討議：各タスクチームからの報告をお待ちします。

人事関係に関する報告書を Drive にアップしました（時任）